



The VC Impact Playbook

日本語訳

2023

(※) GLIN Impact Capitalによる非公式和訳。Big Society Capitalから配布と一般公開について許諾を頂いていますが、翻訳内容の正確性について保証されているものではありません。

目次

はじめに	03
インパクトとインパクト投資とは？	04
会社およびファンドのインパクト戦略の設定	05
インパクト・戦略	05
インパクト・ガバナンス	07
インパクト投資の実施	08
インパクトディールフロー開拓	08
インパクトリターンの評価	09
インパクトリスクの評価	11
インパクトが価値を生むかの評価	11
インパクト投資の管理	14
ポートフォリオへのインパクトサポート	14
インパクト測定	16
インパクト評価	18
インパクト報告	19
インパクトエグジット	20
インパクト学習 & 反復	21

はじめに

What is this ?

このプレイブックは、[ImpactVCコミュニティ](#)の最初のアウトプットであり、ベンチャーキャピタル(VC)が世界の最も差し迫った課題を解決する能力を解放するためにあります。

このプレイブックは、最もエキサイティングなインパクトスタートアップを発掘、選択、支援し、その可能性を最大化するために、VC向けに作成されました。Big Society Capitalで行われた事例を大いに活用し、より広いImpactVCコミュニティとの幾度も関わりを通じて開発されたものです。

多くの投資家がインパクトと同時にESGを考慮しています。ESGも重要なことではありますが、すでに[他の資料](#)で優れた紹介がなされているため、ここでは取り上げません。

詳細と最新のライブアップデートについては、フルオンラインバージョンをご覧ください。

なぜ、私たちはこれを作成したか

世界は、ますます差し迫った社会的・環境的な課題に直面しています。私たちは、テクノロジーが正しい意図と文脈、そして整合性のあるビジネスモデルで使用されれば、これらの課題に取り組む上で重要な役割を果たすであろうと信じています。また、インパクトを与えることはビジネス上も有意義であり、ポジティブなインパクトを与えるためのマネジメントは、商業的パフォーマンスを強化し、向上させることができると考えています。

多くの起業家やVCがこのような信念を共有しています。起業家の中には、「目的」と「インパクト」を自分たちの仕事の中核に据える人が増えており、インパクトのあるスタートアップを支援しようとするVCも増えています。これらのVCは、インパクトのあるトピックを取り上げ、インパクトのある企業を効果的に発掘、選定し、投資を獲得することが必要です。

しかし、インパクトの大きいスタートアップの特定、創業者の意図の評価、長期的なインパクト価値の最大化といったテーマは、最も経験豊富なVCにとっても、新しい側面であるでしょう。さらに、次のページで、創業者が直面する一般的な問題の一覧をご覧ください。VCファンドの投資家はVCに対し、インパクト戦略を明確に表現し、インパクトマネジメントとレポート能力を実証することをますます期待するようになっていきます。

ここでは、インパクト投資の中核的な側面を、VCにとって実践的で適切な方法で説明します。インパクトベンチャーのパイオニアであり、他の投資家のために道を切り開いてきた人々の専門知識を活用するとともに、インパクト投資の旅の初期段階にある幅広いベンチャー投資家コミュニティから新鮮な視点とアイデアを引き出します。

内容

プレイブックを4つのセクションに分けました。

まず、インパクトとインパクト投資に関する基本的な事項を説明します。

そして、インパクト投資のプロセスを以下の3つのステージに分けて見ていきます。

- ① 企業やファンドのインパクト戦略の策定
- ② インパクト投資の実施
- ③ インパクト投資の管理

このプレイブックが読者様にとって価値あるものであることを願っています。また、貢献したい、フィードバックしたい、質問したい、などある場合は、[どうぞこちらにお寄せください](#)。

インパクトとインパクト投資とは？

このセクションでは、インパクトとインパクト投資に関する基本的な事柄について説明します。



インパクトとは何か？どのように創り出すのか？

インパクトマネジメントプロジェクトでは、複数の関係者が集まり、インパクトの定義について以下のような合意にたどり着きました：「インパクトとは、組織によって引き起こされる結果の変化である。インパクトには、ポジティブなものとネガティブなもの、意図的なものと意図的でないものがある。アウトプットとは、ある出来事や行動の結果として、ある集団が経験する幸福のレベル、あるいは自然環境の状態のことである。」

ビジネスの文脈では、インパクトを作る方法が3つあります：

- 1 **インパクトのあるビジネスモデル** 例) インパクトのある製品・サービスの販売や、十分なサービスを受けていないグループへのリーチを通じてインパクトを与えるなど。
- 2 **インパクトのあるオペレーション** 例) バリューチェーン全体で行われる業務上の意思決定により、インパクトに影響を与える(ESGに類似)。ビジネスモデルが明示されているかどうかにかかわらず、あらゆる企業に適用される。
- 3 **インパクトのある利益** 例) 企業がインパクトを与えるための従来のモデル：慈善活動、CSR、またはクロスサブサイディングモデルによるもの

これらのアプローチはそれぞれインパクトを高めることができるため(例：それぞれ人や地球にとって、プラスまたはマイナスの変化をもたらすことができる)、ステークホルダーがビジネスのインパクトを完全に理解するためには、「これら3つの方法でどのようなインパクトを生み出しているか」と問うといいでしょう。



インパクト投資とは？

まずは[GIINの定義](#)から見ていきたいと思えます：

インパクト投資とは、金銭的なリターンと同時に、社会的・環境的にポジティブで測定可能なインパクトを与えることを意図して行われる投資のことです。

「これではインパクト投資の基準を満たすような投資は、まだ非常に幅広く存在しています。このプレイブックでは、インパクト投資家は、ある投資を通じて可能な限り最適なインパクトの量を求めて投資を行っている、という暗黙の前提を置いています。ベンチャー企業においては、コアモデルや製品がインパクトを生み出し、何百万人ものユーザーにリーチできる可能性を持っているビジネスへの投資を指します。」

そこで私たちは、ベンチャー企業におけるインパクト投資を以下のように定義しています：

「財務的リターンとともに、社会的・環境的インパクトを最適かつ測定可能な形で生み出すことを意図して行われる投資です。これは、ポジティブな変化をもたらすソリューションに貢献することを目的として事業を行うスタートアップに投資することで達成されます。時間が経つにつれ、そのインパクトの創出が行われ、インパクトの実績が積みあがっていきます。」

会社およびファンドのインパクト戦略の設定

ここでは、インパクト戦略と適切なインパクトガバナンスの設定に焦点を当てます。



インパクト戦略(Impact thesis)

インパクト戦略は、一般的な投資戦略を構築する際に答えるべき核心的な問いが同じく適用されるという点で類似していますが、財務的リターンとともにインパクトに重点を置いているという点で異なります。

1

どのような包括的なインパクト目標を達成しようとしているのか？
またそれはなぜか？

2

どのようなビジネスモデルに投資しているか？

それはどのような変化をもたらすか？また、対象は、どのような顧客やエンドユーザーに対してか、あるいはどのような環境側面に対してか？

3

なぜ、これらのビジネスモデルに投資しているのか(どのようにリターンをもたらし、インパクトを生み出すのか)？

4

どのように実行するのか？

例：インパクト評価プロセスはどのようなものか、インパクト基準、インパクト測定の枠組みなど

投資家の投資ステージによって、関係してくる具体的な内容は異なります。プレシードステージで可能なことは、シリーズB以降とは大きく異なります。この詳細については、当社の[オンラインリソース](#)で説明していますが、以下にその概要を示しています。

ファンドの 戦略

アーリーステージ インパクト投資家

アーリーステージ投資では、焦点を絞ったインパクト戦略の目標を明確にすることは困難な場合が多いです。この場合、まずは投資し得るビジネスモデルの種類や数に焦点を当てることで、どのようなインパクトが発生し得るかを示すことができます。

ジェネラル 投資家

初期段階の投資家と同様、ジェネラリストにとっても特定のテーマに絞ることは難しいです。そのため、インパクトのあるビジネスモデルの種類と数に焦点を当てることで、どのようなインパクトが発生するかを示すことができます。

テーマ投資家 (環境ファンド含む)

テーマ別の焦点、ファンドが達成しようとする成果、エリア、インパクトターゲットを明確にすることで、インパクト戦略が定まります。

システミックな変化・成果 を目指す投資家

変えようと考えているシステム、重要となるレバレッジポイント、ファンドがそれらにどのように影響を与える予定かを示すことで、インパクト戦略が定まります。

焦点

様々なインパクト投資戦略の例:



インパクトガバナンス



インパクトリソーシング

一般的な組織の取り組みと同様に、インパクト達成の成否は、誰が責任を持つか、そして実行のために与えられる財務的・非財務的資源によって決定されます。インパクトの説明責任を果たすには、会社のシニアメンバー、理想的にはICの議決権を持つパートナーが適しています。

可能であれば、この幹部はインパクトに関する専門知識、経験、トレーニングを積んでいることが望ましいです。これは、ファンドに関連するインパクト関連分野(例:ヘルスケア)だけでなく、以下にも当てはまります。(例:インパクト計測)

インパクトの実行は、ファンドの規模や成熟度などによって、同じ担当者が担当する場合としない場合があります。いずれにせよ、実行責任者はインパクトに関する専門知識、経験、トレーニングを受けていなければいけません。



インセンティブ構造

インパクトキャリー制度は、財務的パフォーマンスに対する財務キャリー制度と同様、ファンドのインパクトパフォーマンスとインセンティブを一致させるのに役立ちます。インパクトキャリー制度はまだ比較的新しい概念であり、業界はまだインパクトキャリー制度のベストプラクティスにが確立していません。しかし、このような仕組みはより一般的になりつつあり、既に一部のLPでは資金調達プログラムの中で必須とされています。

キャリー量、正しい測定基準の選択、配布のしきい値、測定メカニズム、統治機関など、検討すべき重要な側面について、[オンラインリソース](#)で解説します。



規制の枠組みとの整合性

VCに関連しそうな規制の枠組みがいくつか出てきています。

現時点での主要なものは、EUの[持続可能な金融開示規制\(SFDR\)](#)です。これは、2023年1月1日に施行予定の持続可能性開示のための新たな政策的枠組みです。SFDRは、4つの報告レベルに分かれています。

- ① 事業体レベル(すなわち、会社レベル)の主要な悪影響の報告
- ② 商品レベルの契約前開示(目論見書など)
- ③ 商品レベルのウェブサイト開示
- ④ 製品レベルの定期的な開示

それぞれで何が必要なのか、何を、どのような方法で、どれぐらいの頻度で報告する必要があるのか、などについては私たちの[オンラインリソース](#)で解説しています。

インパクト投資の実施

ここでは、インパクトディールフローの構築、インパクトリターンやインパクトリスクの評価、インパクトがどのように価値を生むかといった、インパクト投資における基本的な事項を解説しています。当社の[オンラインリソース](#)では、これらすべての項目について、より詳細な情報を提供しています。

インパクトディールフローの構築

インパクトディールフローの追跡

既存のディールフローの戦略を変更する前に、現在のパイプラインの中で、どれだけのディールがミッション主導であるか理解するとよいでしょう。一部のVCは、スクリーニング評価にインパクトのある提案をタグ付けするための質問をいくつか用意しています。「はい・いいえ・多分」のようなシンプルなものでも充分です。

こうすることで、パイプラインにおけるインパクトと締結されたディールの相対的な重み付けなど、興味深い洞察が得られます。インパクトのあるスタートアップが自社のポートフォリオに入る可能性が高いかどうかは、何か変化を起こす前に理解することが重要です。また、この演習は、現在のインパクトディールフローがどこから来ているかを明らかにし、必要であれば、このフローを拡大するためにどうすべきかというインスピレーションを引き起こすかもしれません。

インパクトディールフローの強化

これはファンドマネジメントの新たな分野です。時間の経過とともに、マネージャーはより洗練されていくことが予想されます。ここでは、うまくいく傾向のあるものについて、いくつかのアイデアを紹介します：

1 ファンドのインパクトへの意思表示：

- A インパクト論文、インパクトレポート、インパクトブログ、その他のコミュニケーションなどを通じてファンドのインパクトへの意思を示します。これにより、インパクト志向の創業者を惹きつけ、ファンドのインパクトに対する信頼性を高めることができます。このような取り組みを行っているファンドの例として、[Zinc VC](#)や[BGV](#)が挙げられます。
- B インパクト戦略主導であることが大切です。達成したいインパクトと支援したいビジネスモデルを明確にすることで、市場に明確なシグナルを送り、あなたの持つ専門性と誰があなたにアプローチすべきかを示すことができます。Fair By Design Fundの[Ascension](#)のはそのいい例です。

2 インパクト重視の創業者への積極的に働きかけましょう：

- A 関連するネットワーク（例：[toniic](#)のネットワーク）のメンバーになる、もしくは関係を構築する。あるいはほかのインパクト投資家のポートフォリオを見てみましょう。
- B インパクトディールを発掘するためのスカウトネットワークの構築しましょう（[Ada](#)のスカウトネットワークが特に社会的マイノリティの創業者を発掘するために構築されています）。

インパクトリターンの評価

インパクトの評価は、企業が成長するにつれてより多くのデータポイントが利用可能になるため、投資のステージによって異なります。一般的なフレームワークとして、以下のようなものが参考になるでしょう:

インパクトマネジメントプロジェクト(Impact Management Project)

これは、インパクトのさまざまな側面を明確にすることで、インパクトの総量を分解し、必要に応じてこれを増加させるのに役立つものです。



何

人々の暮らしにどんな変化
が起きるのか？



誰が

その変化は誰に対し
て起きるのか？



どれぐらい

その変化はどれぐらい(ど
れぐらい深く、どれぐらい
の数、どれぐらい長く)起
きているのか？



貢献度

その変化はどれほ
どの貢献度がある
のか？

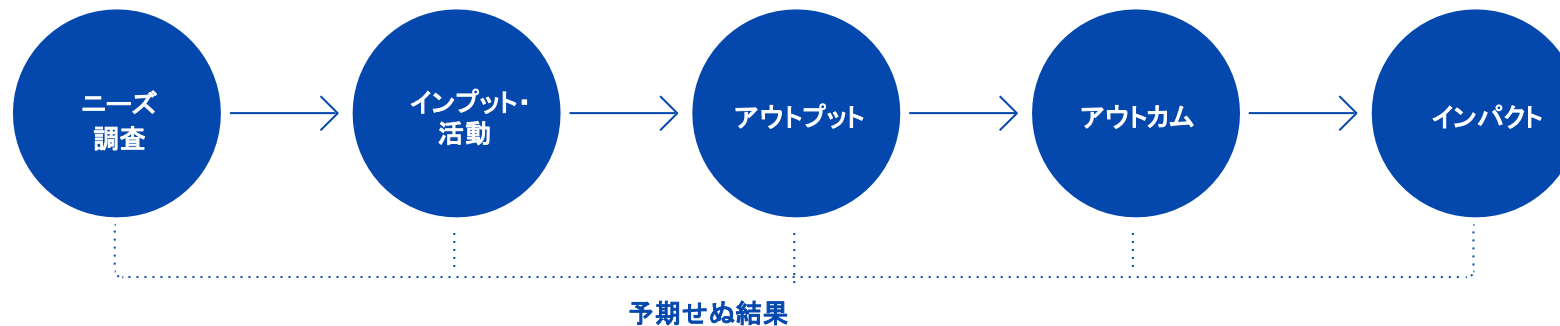


リスク

このインパクトが実現
する可能性はどれぐら
いなのか(例:リスク)?

Theory of change

これは、問題と解決策の間に発生する必要がある合理的なステップをマップ化し、インパクトを確実に生み出すことに役立ちます。



以下に、各ステージに関連しそうなことをいくつか挙げました。より詳細な情報は、[オンラインリソース](#)をご覧ください。

タレント投資家・ アクセラレーター

創業者チームの価値観、モチベーション、インパクトの意図

プレシード・ シード投資家

さまざまな製品のユースケース・ターゲット市場の理解、インパクトと財務的持続性との整合性

シリーズA 投資家

製品およびターゲット市場が対象としている具体的なアウトカム、全体的なインパクトの可能性

シリーズB投資家以降

現在までに達成された成果
今後の予測、将来への展望

インパクトリスクの評価

インパクトリスク評価は、重要なプロセスであり、ビジネスモデルが時間の経過とともにどのように進化していくか不確実なベンチャーでは特に重要です。インパクトリスクには、大きく分けて3つの分類があり、これらを考慮する必要があります。

① 目標とするポジティブなインパクトが実現するかどうか

ここでのリスクは、主に次のようなものです：

1

実行リスク

ビジョン達成のための科学的、技術的、ビジネス的なリスクを克服することができるのか？

早期段階のベンチャー企業では、これが圧倒的に大きなリスクとなります。

2

整合性リスク

創業者はインパクトコース（インパクトを追い続けること）にとどまりそうか？

これは、彼らのインパクトの意図と、それを実用的なビジネスモデルに変換できるか（より商業的な用途にPivotすることなく変えることができるか）との組み合わせで判断します。

3

外的リスク

顧客、ユーザー、規制当局などのステークホルダーは、何らかの形でインパクトの発生を防ぐ可能性がありますか？

2 予想される・既知のネガティブな影響と、それらをどのように軽減できるか

マイナスの影響を全く与えないビジネスを想像することは困難であるため(例えば、物流に重点を置くものは環境に影響を与える)、ここではスタートアップがどのようにしてこれらの影響を軽減することができるかが問題となる。[OmidyarのEthical Explorer Guide](#)と[IMPのRisk Dimensions](#)は、ビジネスモデルのリスクプロファイルを理解するための出発点として有益です。また、ESG関連リスクの類型化は、事業関連リスクの解明に役立ちます。

3 未知・意図しないネガティブな影響は何か、そしてそれをどのように回避・軽減できるか

多くの場合、最も損害を与えるリスクは、長い間管理されずにいたがためを見つけることが難しいものです。以下に挙げるのはインパクトのあるビジネスではありませんが、この点を強調するのに役立っています。Uberの労働条件やドライバーの安全性、Airbnbの差別や住宅価格、Facebookのフェイクニュースやヘイトスピーチ、民主主義プロセスの歪みで直面した問題を考えてみてください。創業者たちはおそらく、こうした結果が自分たちのビジネスに関連しているとは想像もしていなかったでしょうが、現にそうなっています。

ここで重要なのは、こうした結果を予測できるかどうかよりも、こうした結果を定期的にスキャンし、仮にそれが現実のものとなった場合に効果的に管理できるようなプロセスを、スタートアップがどのように構築しているかということです。例えば、BGVIは、ポートフォリオが「ホライズン・スキャンニング」を実施することを支援しており、どのようなリスクが発生し、それをどのように監視するかを積極的に検討させています。詳細は、[2021年インパクトレポートの12項](#)を参照をご覧ください。

インパクトが価値を生むかの評価

インパクトというレンズからビジネスを構築することで、業績や収益が向上するケースがあります。

このような現象が起こるメカニズムについては、まだ発展の途上です。
大まかに言えば、この現象には4つのポイントがあると考えています：



顧客

ここには、複数のレベルのメカニズムが存在します。比較的表面的なレベルでは、顧客がインパクトのある製品やブランドを好む度合いが挙げられます。より深いレベルでは、例えば、十分なサービスを受けていない人々へのリーチや、革新的な収益源による新しい市場セグメントの開拓など、単位当たりの経済性を向上させるダイナミクスが存在します。



才能

成功するスタートアップの構築には人材が不可欠です。若い世代の人材はますます有意義なキャリアを求めています。インパクト主導のスタートアップを構築することは優秀な人材を獲得する1つの方法であり、彼らの価値観に沿ったキャリアを提供する必要があります。



規制当局

規制当局は、ビジネスが社会や環境に与える影響にますます関心を寄せています。給料日前貸しや非倫理的な保険業務による悪影響を防ぐために導入された法律が、それをよく示しています。インパクト重視のビジネスを構築することで、創業者は規制の波に乗り遅れることなく、ビジネスへの衝撃を最小限に抑えることができるのです。



資本提供者

もし左記のことが真実であれば、資本提供者はますますインパクトのあるビジネスを支援したいと思うようになるでしょう。私たちはすでに、ESGや目的志向の投資の劇的な増加により、こうした傾向が現れているのを目にしています。Atomicoの最新のデータによると、インパクトのあるビジネスモデルへの早期段階投資は、過去数年間で3倍に増加したそうです。

インパクト投資の管理

インパクトについて考えることは、投資後の段階でも継続する必要があります。インパクト投資の実施と同様に、投資後の管理でも既存のVCのポートフォリオやプラットフォームのプロセスにインパクトのレンズを取り入れることが必要です。

ポートフォリオへのインパクトサポート

ファンドがスタートアップ企業の製品、人材、成長などを支援するのと同じように、インパクト戦略、インパクトのためのビジネスモデル設計、インパクト測定など、創業者が抱える最大のインパクト課題の解決を支援するファンドが増えてきています。

インパクト支援へのアプローチ例

- 1 スタートアップを支援するためのキャパシティと専門知識を社内構築（既存チームのトレーニングやインパクトベンチャーパートナーの招聘など）
- 2 既存のインパクトリソースを整理する
- 3 ベンチャービルダープログラムやアクセラレーターは、インパクトサポートを提供の中核に据えて設計されている場合があります。例えば、以下のようなものです：



BMW Foundation
Herbert Quandt



次のページで、創業者が直面する一般的な問題の一覧をご覧ください。

創業者が助けを求める最も一般的なインパクトの課題

1

商業戦略と連携し、相互に補強し合うインパクト戦略の作り方

2

効果的にインパクトを与える製品とビジネスモデルを構築する方法

3

社会的・環境的使命を持つ優秀人材を獲得する方法

4

解決しようとする問題に対してインパクトのあるリーダーシップを発揮して、差別化されたブランドを構築する方法

5

インパクトの測定と報告方法

6

インパクト重視の人材をどこで見つけるか(例:インパクト関連の仕事がしたい人材が利用する Mustard Seed Maze [求人ポータルサイト](#))

インパクト測定

ベンチャー企業におけるインパクト測定は、早期段階の企業における限られた資源と、ベンチャー企業のスケーリングジャーニーにおける高い不透明さを考慮すると、困難である場合があります。しかし測定は、説明責任の遂行、製品開発のための洞察の創出、顧客獲得の加速化など、非常に大きな価値をもたらします。そのため、厳密性を維持しながら、付加価値と適切性に焦点を当てることが重要です。

社会的インパクト

早期段階のベンチャー企業用の社会的インパクトを測定するためのフレームワークがないため、私たちは経験に基づいてまとめてみました。私たちが提案するアプローチは、できるだけ軽いものから始め、ベンチャーが成長するにつれて、洗練されたレベルを追加していくものです。プレシード・シード段階では、インパクトの意図や野心に焦点を当て、時間の経過とともに、達成した成果にシフトしていきます。詳しくは、[オンラインリソース](#)をご覧ください。

最善の措置は、たとえ特定のKPIをすぐに測定できなくても、投資の時点で測定計画を明確にすることです。そうすることで、方向性を一致させることができます。

一般的に、これらの質問は、いつ、何を測定するかを考えるのに役立つと思います。

- 1 私たちの投資戦略にとって最も重要な証明は何か？
- 2 すでに外部で検証されているものは何か？
- 3 何を測定するのが最も効率的で付加価値が高いか？
(例えば、インパクトのあるビジネスを成長させるために最も価値のあるもの)
- 4 上記は時間の経過とともにどのように変化するのか？
- 5 モニタリングすべき主なリスクとは？
評価方法については、[インパクトリスク](#)の項をご覧ください。

環境へのインパクト

環境への負荷をより適切に測定し、標準化するための取り組みが多く行われています。

[Project Frame](#)レポートの[スライド5](#)は、様々なイニシアチブをマッピングしています。しかし、[Prime Coalition](#)のレポートが指摘するように、早期段階のベンチャーに関しては、これらのほとんどは目的に適っていません(特に[6ページ](#)を参照)。

そこでPrime Coalitionは、早期段階のスタートアップ企業の環境負荷の測定方法として、「[排出削減ポテンシャル評価](#)」を提案しました。この手法では、以下の点に着目しています。

- 1 開発する製品のライフサイクル排出量の把握
- 2 置き換えられる製品のライフサイクルの排出量の把握
- 3 開発対象製品の販売1単位あたりの排出量の正味改善量
- 4 今後、何台販売されるかの予測
- 5 全体の排出削減ポテンシャルの試算

このアプローチの潜在的な限界として、排出量と環境へのインパクトに焦点を当てた場合、環境へのインパクトは排出量よりも広い範囲に及ぶことが挙げられます(詳細は、環境へのインパクトに関する[セクション](#)をご覧ください)。投資家やスタートアップ企業は、同様のアプローチを用いて、生物多様性や天然資源などに対する影響についても考える必要があります。

世界基金は、環境へのインパクト評価(または気候変動パフォーマンスポテンシャルと呼ばれるもの)についてどのように考えているか、スタートアップレベルでこれを行う際の方法を[詳しく説明しています](#)。

加えて、次のようなことに目を向けてみてはいかがでしょうか。[CRANE](#)プラットフォームは、[Prime Coalition](#)と[Rho Impact](#)が提供する無料ツールで、気候変動に与える影響を検討する際に時間と費用を節約することに役立ちます。

インパクト評価

インパクト評価とは、投資テーマに対して達成された成果と潜在的な成果を比較するプロセスです。以下は、評価方法についての幾つかのアイデアです：

支援するインパクト企業の数や次ラウンドへの進展に重点を置くアーリーステージやジェネラリストの投資家向け：

- 1 投資先が、ファンドの定義するインパクトスタートアップに該当する理由
- 2 インパクトスタートアップの支援件数
- 3 さらなる資金調達を確保するために、次ステージの新規投資家から調達を行ったインパクトスタートアップの数

特定の成果を目的とするテーマ投資家向け：

- 1 設定した目標に対する成果の達成度合い

具体的なアウトカムベースの目標を持っていなかったが、投資先が創出したアウトカムを計測したいインパクト投資家向け：

- 1 スタートアップレベルでのケーススタディーアプローチは有効な手法です
- 2 The power lawは、リターンと同様にインパクトにも適用される（※：成功した少数のポートフォリオがリターンの大半を占めること）
- 3 したがって、財務面や影響力の面で優れた業績を上げている企業に注目することは理にかなっています

インパクト評価は、スタートアップ、VC、LPの間で微妙な議論がなされてきました。このような議論において、どのようなものが良いかを示す公的な事例はまだ確立していません。私たちは、このような透明性を高めることは最終的に有益であると考えますが、そのためには、慎重に考えなければならないいくつかの課題があることも認識しています。

インパクト報告

ステークホルダーがインパクトに関する透明性と説明責任の向上を求める中、インパクトマネジメントの重要性はますます高まっています。

その結果、この分野での新たな規制の影響もあり、インパクト報告における最善の措置は急速に変化しています。遵守すべき一般的な原則は以下の通りです：

- 1 最低でも毎年インパクトに関する情報を定期的に提供
- 2 プラスとマイナスのインパクトの主な原因を包括的にカバー
- 3 意味のある形でデータを提供(相対的なベンチマークを持つなど)
- 4 インパクト測定手法の透明性

VCインパクトレポートの例：

インパクトエグジット

インパクトベンチャーのエコシステムが成長するにつれ、エグジットにおけるインパクトの保全はますます重要な課題となっていくでしょう。ここでは、インパクトの観点から最も困難なエグジットとなる可能性が高い買収において、投資家がインパクトを維持するために講じるべき措置をいくつか紹介します。

- 1 **買収するスタートアップの買い手と動機を理解する:** 企業のミッション、ビジョン、価値観を理解することは、インパクトの調整がうまくいくかどうかを判断するのに非常に有効です。
- 2 **買収と統合が円滑に進むことをサポートする:** 両社の統合が失敗した場合、インパクトにも影響が出る可能性があります。
- 3 **インパクトが企業価値の源泉であることを説明する:** インパクトがスタートアップの価値生成方法、さらには収益生成方法に組み込まれていれば、買収する企業がインパクトモデルを破壊する可能性は低くなります。
- 4 **インパクトガバナンスと説明責任の仕組み:** パブリックインパクト報告、インパクト諮問委員会、定款の「ミッションロック」、その他のガバナンスの仕組みは、買収後もインパクトが組織の中核をなすことを保証するのに役立ちます。
- 5 **インパクト志向の人材を採用し、インパクトの文化を醸成する:** インパクト志向の採用や文化構築の取り組みは、会社のDNAにインパクトを焼き付け、買収後のインパクトの継続性を確保するのに役立ちます。

上記とその事例については、[こちら](#)のブログで詳しくご紹介しています。

インパクト学習 & 反復

インパクトはほとんどのスタートアップやVCにとって、新しい試みです。常に新しい学びが生まれ、それを行動に移すことが重要です。私たちは、以下のような仕組みがあれば、学びを特定し、ファンドの日々の業務に取り入れることができることを発見しました：

- 1 インパクトに関する振り返りに特化している
- 2 定期的で開催されている
- 3 インパクトに関する専門知識を有するチームの上級メンバーが出席し、議長を務めている
- 4 洞察の結果、プロセスを反復する洞察がある

最後に

最もエキサイティングなインパクトスタートアップを発掘、選定、支援するための最良の方法を考える上で、このプレイブックがお役に立てれば幸いです。このプレイブックは、ImpactVCコミュニティの最初のアウトプットであり、世界で最も差し迫った課題を解決するためにVCの能力を解放するために存在するイニシアチブであります。ご意見・ご感想は[こちら](#)から、またこのプロジェクトに参加されたい方は、[こちら](#)からぜひご連絡ください。

ImpactVCは、Big Society Capitalでインキュベートされています。



そしてこれはImpactVCの創業スポンサーによって実現できています。

Taylor Vinters
Part of the Mishcon de Reya Group

BMW Foundation
Herbert Quandt

Morgan Lewis

 **Katapult
Foundation**

ncm
fund & depositary services

*** VAUBAN**
from Carta

aws

The logo for IMPACT VC features the word "IMPACT" in a bold, white, sans-serif font above the letters "VC" in a smaller, white, sans-serif font. A horizontal white line is positioned between the two words, ending in a small yellow circle on the right side.

IMPACT
VC

[トップに戻る](#)

(※) GLIN Impact Capitalによる非公式和訳。Big Society Capitalから配布と一般公開について許諾を頂いていますが、翻訳内容の正確性について保証されているものではありません。